

3D ビデオプロセッサ OLYMPUS 3DV-190

【禁忌・禁止】

*使用方法

以下の場所に本製品を設置して使用しないこと。[本製品は防爆構造になっていないため爆発や火災を起こすおそれがある。]

- 酸素濃度の高いところ
- 笑気ガス (N₂O) のような酸化物質の雰囲気の中
- 可燃性の麻酔ガスを使用しているところ
- 可燃性の液体が近くにあるところ

【形状・構造及び原理等】

** 構造・構成ユニット

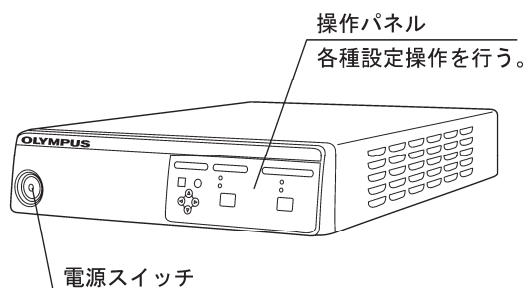
1.構成

本製品は以下のものから構成されている。

- ・ 3D ビデオプロセッサ OLYMPUS 3DV-190

2.各部の名称

外観図、主要部分の名称

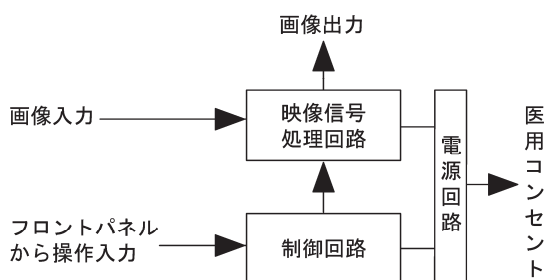


3.仕様

項目	仕様
電源入力	定格電圧 100V 交流
	電圧変動 ±10%以内
	定格周波数 50/60Hz
	周波数変動 ±3%以内
	定格入力 100VA
医用電気機器 による製品の 分類	電撃に対する 保護の形式 クラスⅠ
	防爆の程度 可燃性雰囲気中での使用禁止
	標準寸法 (突起含まず) 幅 370×高さ 85×奥行 454mm
大きさ	最大寸法 幅 375×高さ 91×奥行 478mm
	質量 7.7kg

4.構造

ブロック図



作動・動作原理

2 台のビデオプロセッサ装置 (ビデオシステムセンター) からの映像信号を本製品により 3D 画像信号に変換、処理し、3D モニターに出画する。

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、2 台のビデオプロセッサ装置から出力される左右の画像信号を合成して、観察モニターに 3D 画像を表示する信号に変換することを目的としている。

* 【使用方法等】

使用方法

- 1.電源コードを医用コンセントに接続する。
- 2.ビデオシステムセンターと本製品をビデオシステムセンター接続ケーブルで接続する。
- 3.観察モニターと本製品をモニターケーブルで接続する。
- 4.必要に応じて、画像記録装置を接続する。
- 5.電源スイッチを押して電源を入れる。
- 6.検査終了後、電源スイッチを押して電源を切る。

使用方法等に関連する使用上の注意

1.一般的事項

- (1)コネクタ内部の電気接点には、直接手で触れないこと。機器が故障したり誤作動するおそれがある。
- (2)本製品を乱暴に扱わないこと。装置の故障や、けがをするおそれがある。
 - 各接続部のコネクタに無理な力が掛からないようにすること。
- (3)観察画像は直接観察モニターに出力し、間に周辺機器を介さないこと。画像が消失するおそれがある。
- (4)製品を強力な電磁波を浴びる場所 (マイクロ波治療器、短波治療器、MRI、無線機、携帯電話などの付近) で使用しないこと。誤作動を招くおそれがある。
- (5)スプレータイプの潤滑剤、麻酔剤、アルコールなどの薬剤を使用する場合、薬剤が降り掛からないように本製品から離れた場所で使用すること。通風孔から薬剤が製品内部に入り込み、故障を引き起こすおそれがある。
- (6)本製品の近くで加湿器を使用しないこと。製品内部が結露し、機器の故障を引き起こすおそれがある。

2.併用医療機器

- (1)本製品と併用するほかの医用電子機器に影響を及ぼすおそれがあるため、あらかじめ影響の有無を十分に調査してから使用すること。
- (2)SDI 信号は複数の周辺機器をデジチェーン接続 (数珠つなぎ) で信号を伝送する。デジチェーン接続の途中にある接続機の電源が OFF されるとそれ以降の接続機器に映像信号が供給されなくなる。
- (3)本製品と一緒に高周波焼灼電源装置を使用する場合は、当社の高周波焼灼電源装置を使用すること。観察、処置に影響するレベルのノイズが発生したり、内視鏡画像が消失することがある。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用上の注意】

*重要な基本的注意

1. 一般的事項

- (1) テーブルタップなどを使用して電源コードを接続せず、必ず医用コンセントに直接接続すること。テーブルタップなどを使用すると確実な接地ができず感電を起こすおそれがある。
- (2) 本製品の通風孔から排気を確認できないときは、使用しないこと。本製品の異常や故障が考えられ、感電を起こすおそれがある。
- (3) 本製品を患者に使用しているときに、内視鏡および処置具の金属部を、ほかの周辺機器や設備の金属部に接触させないこと。本製品と大地が電氣的に結ばれ、意図しない電流が流れ、患者が感電するおそれがある。
- (4) 連続して 3D 画像の観察を行う場合は、眼精疲労や体調に異常がないかに十分注意し、異常を感じた場合は 2D 表示に切り替えて使用すること。体調に異常があるまま使用し続けると、正しく 3D 画像を観察することができず、患者を傷付けたりするおそれがある。
- (5) 本製品の電源を切っても電源表示が点灯している場合は、コンセントから電源コードを抜いて使用を中止すること。
- (6) 本製品を中性洗剤や消毒用エタノールで湿らせたガーゼでふいた後は、ぬれたまま使用せずに十分に乾燥させてから使用すること。ぬれたまま使用すると感電を起こすおそれがある。

2. 併用医療機器

- (1) 医用電気機器以外の周辺機器を使用する場合は、感電や火災を起こすおそれがあるため、当社推奨の機器を使用し、絶縁トランスを介してから電源接続をすること。
- (2) 正しく 3D 観察および 2D 観察ができることを確認すること。3D 観察の立体感に違和感がある場合には、2D 表示に変更して使用すること。
- (3) 高周波焼灼電源装置を使用する前に、高周波ノイズが観察、処置に影響しないレベルであることを確認すること。確認しないで使用すると体腔内を傷付けるおそれがある。
- (4) 本製品を 3D ビデオスコープと使用する際には、本製品、2 台のビデオシステムセンター、光源装置、3D モニターのすべての電源を入れること。正常に動作しないおそれがある。
- (5) 3D 表示を利用しない場合であっても、本製品の電源を入れること。観察モニターに内視鏡画像が表示されない。
- (6) ワイヤレス映像伝送装置 (UWIT) と組み合わせる場合には 3D 観察しないこと。UWIT の電波状態によっては正しく 3D 観察ができなくなるおそれがある。
- (7) 本製品の故障に備えて、本製品を介さずにビデオシステムセンターと観察モニターを直接接続する方法を確認しておくこと。詳細はビデオシステムセンターの『添付文書』や『取扱説明書』を参照すること。

*不具合

その他の不具合

機器の故障、画像異常、誤作動

*有害事象

その他の有害事象

感電

*【保管方法及び有効期間等】

保管方法

使用後は、『取扱説明書 第 8 章 手入れ、保管、廃棄』に従い保管すること。

耐用期間

1. 本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）6 年とする（自己認証（当社データ）による）。
なお、この年数は耐用期間内に本添付文書や『取扱説明書』に示す使用前点検および定期点検を実施し、点検結果によって修理またはオーバーホールが必要な場合にはそれらを実施する等の適正使用をした場合の年数である。
2. 本製品の主要構成部品の使用耐用年数は以下のとおりである。
・内蔵バッテリー：5 年

【保守・点検に係る事項】

*使用者による保守点検事項

1. 使用前に、『取扱説明書』の「第 5 章 使用前の点検」に従って点検すること。点検結果により修理またはオーバーホールが必要であれば実施すること。
2. 【形状・構造及び原理等】の「1. 構成」に示したすべての付属品は消耗品（修理不可能）である。『取扱説明書』に示す使用前点検を実施し、点検結果により必要であれば新品と交換すること。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。